

佐野 公民館報

第50号

令和5年12月30日

発行責任者 北浦光芳

編集責任者 長田英孝

編集 文化部

能美市佐野町

☎57-1300

題字 福島武山氏



10月8日(日) 寺井地区一周駅伝佐野町出場選手のみなさん

「コロナ禍」を経て

佐野町町会長 辰巳 平一

今年五月に「コロナ」感染症が第五類に下げられ、その後疫学的には第八波の流行期を迎えたのに、政策的な見直しで世論も大きな反応を示しませんでした。心底もうこの病には飽き飽きし、少々目をつむってでも、コロナ前への復帰を願っていた人が多かったということでしょうか。

佐野町の町会活動も、昨年は、恐る恐る、運動会や秋祭りなどを再開しました。今年は、完全復帰と思われたむきもあつたと思います。しかしそうはいかず、運動会や秋祭りは共に半日、慰労会や「あとおき」の設定には町会役員内でも反対が多く、復活しませんでした。町内のある方がやや不満げに「あとおきは？」と耳元で囁かれ、団塊世代の私も共感する点が多かったものの、大きな声にはなりませんでした。確かに去年も今年も、公民館関係者は、これら大きなイベントをどう再開させるのか頭をひねり、紡ぎ出したのが「半日」であり、「弁当」の持ち帰りでした。しかしそれら決定はコロナ流行が無くても、数年のうちには検討課題になっていた、疫病蔓延がそれを早めただけとも思われます。既に長時間労働で休みはゆっくりしたい。イベントは半日が限度、飲み会は気の合う人とのみ、お酒は強くないのであとおきは苦手という人達が、コロナをきっかけに声を上げ始めたとみるべきではないでしょうか。「飲みにケーション」という言葉が大手を振って集団をまとめるツールでは、すでになくなっているのかもしれない。そうだとするならば、ポストコロナ時代を迎え、我々は、人と人とが親密に懇ろになれる新しいコミュニケーションの作り方を模索する必要があります。町民の皆様、お暇なときにコーヒーやお茶を飲みながら考えていただければ幸いです。

ピンポン大会 2月26日(日)

男子優勝	稲葉保仁
第2位	加藤天星
第3位	澤田漣 東春叶

女子優勝	加藤久美子
第2位	炭理恵子
第3位	稲葉由美子 橋田真砂子

学生優勝	加藤星花
第2位	中辻未葉流
第3位	黒崎詩織 黒崎琴音

参加者 18名



なかなかの熱戦です！
勝敗は？どちらかな？

まだ寒い日にもかかわらず
沢山の参加をいただきました



入賞された方々です。おめでとうございます。

男子優勝	奥澤鐵男
第2位	中村邦夫
第3位	栗猛

女子優勝	村井喜美枝
第2位	辻トヨ子
第3位	長田政子

参加者 31名

グラウンドゴルフ大会 4月23日(日)

久しぶりの開催でたくさんの町民の方々が参加され、
気持ちのいい日の下で楽しんでプレーをしました。



あっぱれ九十八歳

佐野町老人会 会長 中野 源一

老人会のお世話をする年齢になった自覚がないままスタートして十一月、行事の殆んどが終わりの一年があつたという間に過ぎた気がしています。この地域でもある様に少人数での活動は困難なことがあり、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。現在佐野町の会員数は三六三名で、今年八十歳になられた二四名の方に記念品を分配しました。あの人々が八十歳にと自分の歳を忘れ月日が経ったことをつくづく実感しました。

最近のことですが、妻がクスリのアオキで久しぶりにKさんに会い元気でおられたことが嬉しく、後日自宅へ伺いいろいろ話してもらったことを紹介します。

佐野町在住で三世代同居のKさんは、大正十五年九月生まれで今年九十八歳になりました。しかも町内で同年七名の方が存命とのこと。年齢もさることながらその一人一人の名前をすらすらと言われ驚くことしきり。

Kさんは十年前より新聞のコラムの書き写しをされておられ、見せてもらったぬり絵の色彩感覚もすばらしかったとのこと。

この様に脳トレは勿論のこと、よく寝て好きなものをよく食べ体力的にも長寿の素質充分。

「みんなにいいがにしてもらっとる。」

の言葉に、生前おやじがよく

「生きとる先祖を大事にせいや。」

と笑いながら言っていた事を思い出しました。

しかし、Kさんの様な老後を送っている方ばかりではないのも現状です。

少子高齢化が叫ばれる中、佐野町も例外ではありません。高齢者の一人暮らし夫婦二人暮らしの方が右肩上がりに増えつつあり、老人会の在り方を改めて考えさせられています。

最後になりましたが皆様のご健康を祈り、一人でも多くの方が諸行事に参加され楽しんで頂きたいと願っています。

狭野神社防災訓練 1月22日(日)

狭野神社で火災発生という想定で行われ、能美市全体の消防団が狭野神社に集結しました。



発生状況の判断



ドローンで上空から状況判断



消防車の集合



沢山の隊員達が指揮官の命令で動きます。



隊員達必死の消火作業の準備中です。

総勢約 100 人の消防団員が狭野神社に集結し消防団長の指示のもと消火作業を行いました。井出市長を始め、各団の消防士、佐野町より町会長を始め役員と町民の方々が消火作業を見学していました。

佐野町壮年団 団長 能嶋 秀幸

本年度、団長を務めさせていただきました能嶋秀幸です。皆様におかれましては、日頃より壮年団活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。壮年団員の皆様におかれましては日頃の活動にご参加いただきありがとうございます。

壮年団の活動は昨年までのコロナ禍を終え再スタートを切りました。予定された行事は中止せず行われ、本年度からは新しい活動として老人会の皆様と団員数名の合同で草むしりを行いました。来年度は全団員で行いたいと考えております。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

さて、今年の活動を振り返りますと、コロナ後の活動であり、活動に対する意欲を取り返す年になるとともに感謝を感じる年となりました。コロナ前は当たり前のように続いていた活動は、数年の中止を経て、必要性の希薄化を感じさせ私から活動への意欲を削いでいたかもしれません。しかしながら、この佐野町には昔から続く素晴らしい行事が多くありました。団長という活動を通して知った、玉串行事、慰霊祭や御神輿など、現代においては失われつつあり、しかしながら伝統あるすばらしいものです。この行事を続けることがとても大切だと思っております。行事を通して続けた人と人のつながりを感じたからです。

これからも町会との連携の下、貢献し、ひいては地域の活性化の一端を担わせていただければ幸いです。

少ない団員数でありながら、団に関わりいただく皆様のおかげで、本年度の再スタートを踏み出したことに、深く、深く感謝を申し上げます。

町民大運動会 5月28日(日)

町内会の名称から地区名へ変更しましたので今年はず第1地区より新谷さんが選手宣誓です。



開会式



ジュニアオリンピック
毎年盛り上がる競技です。



豆拾い競争

優勝 黄団
郵便局長杯 第2地区



お玉でジャンケンリレ

優勝 青団
地区会長杯 第3地区



親子でレッツヨー

何がもらえるかな？



紅白玉入れ

優勝 桃団
JA杯 第4地区



こわんぱく競争？

今年は景品が沢山用意されていたので、大人もOKでした！



水くみ競争

優勝 赤団
陶祖神社奉賛会杯 第1地区



太玉ころがし

優勝 赤団
町会長杯 第1地区



お楽しみ抽選会

NO1 賞をゲッツ
道下さん(第4地区)

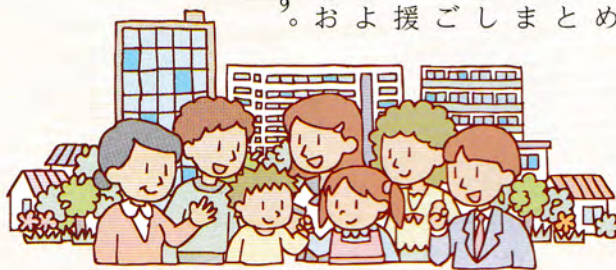


第1地区赤団
総合優勝で万歳

公民館長杯 赤団 第1地区
敢闘賞 青団

今年度から公民館長を務めさせていただきます。前任の北浦さんからバトンを受け、佐野町の為に自分が何か役に立つ事が出来るのであればと承諾しました。
今年度はコロナが二類から五類に移行した事により佐野町としても運動会、夏祭り、文化祭などのイベントを四年ぶりに行う事ができました。公民館役員の方やイベント事に手伝いをしていただいた方々には「感謝」一杯です。公民館関係役員の皆様と共に、知恵を出し合いながら精一杯努めていきたいと考えております。つきましては皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い致します。お願い致します。

公民館長 長田 英孝





まずは園児達の輪踊りです。佐野町の園児達
来年はもっと参加してね!

町民夏祭り
7月29日(土)

いよいよ
本格的に夏祭りが
開催できました。



夏祭りを盛り上げていただいたのは、よさこいソーランの3団体の皆さんです。
佐野町と言えばよさこいソーラン!!
かつよく、熱気であふれ見ている体も踊りだすほど楽しく踊りを見せてくれます。



コロナ前は、毎年よさこいソーランが踊りを披露していただきました。いつ見てもエクセレント!
新谷三男さんがお世話してくれます。いつもありがとうございます。

令和五年度を振り返って

佐野育友会 会長 増田 穣

新型コロナウイルス感染症が五類感
染症へ移行された事により、行動制限が
大幅に緩和され、これまで自粛や規模
を縮小していたイベントの一部を再開
したり、規模を拡大したり出来ました。
再開するにあたり、自分の経験がない
事が多く、その準備は不安だらけのも
のでした。もちろん新型コロナウイルス
感染症がはやる以前の引継ぎ資料は
ありましたが、不明な点もあり、過去
にイベントを経験した事のある役員さ
ん達に聞きながらの準備となりました。
実際にイベント当日はうまく出来たか
の分からないですが、役員の皆様を
はじめ、多くの方の多大なご協力があっ
て何とか遂行出来たと感じております。
今後は、積極的に育友会活動に協力し
て恩返ししたいと思います。

少子化の影響等で育友会の会員が
年々減少しており、育友会の存続に一
抹の不安がありますが、自分の子供達
の楽しそうな顔を見て、これからも子
供たちには、育友会ならではの活動や
経験をして欲しいと思っております。
その為には、皆さま方のご協力が
必要不可欠になると感じております。
ご協力を依頼して締めくくる形で甚だ
恐縮ですが、宜しくお願い致します。



秋祭り 9月23日(土)

天気が良く汗をかきながらまた、お酒を飲みながら、佐野町を巡行しました。獅子舞の舞の練習が出来ないので今年は、中学生希望者で頭を持って神輿と一緒に歩きました。今年は第2地区の皆さんの担ぎ手です。



寺井地区1周駅伝競走大会 10月8日(日)

第1走者	山下恵大 区間賞
第2走者	長田理恵
第3走者	山下幸司
第4走者	西田那月
第5走者	森綾音
第6走者	長田敏宏

毎年佐野町での沿道での応援ありがとうございます。



佐野町は今年男女共同参画のメンバー構成です



左端が山下恵太君です。おめでとう。



寺井地区ソフトバレー大会 10月8日(日)

Aチーム	Bチーム	Cチーム
南智也	道下椋介	沢口輝
室田将太郎	木村修也	室田将充
道下直美	道下葵生	沢口優理
木村彩良	森望央	木村良子
室田裕子(補欠)	長田英孝	樋口有紀子

佐野町より3チーム15名ソフトバレーの競技に参加しましたが残念優勝ならず！他の町は参加者が減少しているにもかかわらず佐野町は3チーム出場。来年は、上位を目指した練習に励んでください。

町民文化祭 11月5(日)



今年の文化祭も沢山の町民の皆さんが来ていただき大変盛り上がり
ました。しかし、作品が毎回すくなくなってきました。皆さんの
お宅に眠っている作品を来年も募集します。趣味の作品もOKです。



抽選会



餅つき



お茶会

文化祭と同時に旧駅前通り旧木田さん店舗で中国茶喫茶
chakanにて町民の皆さんに肉まん、お粥、饅頭と中国茶
を味わっていただきました。
オーナーの松政さん夫妻(第3地区)とお手伝いさん!と
てもおいしかったですよ!!

今年は越田久美子さん(第3地区)がお茶会を行って
くださいました。
小学生の女の子達がお菓子、お茶を運んでまた作法も
教えていただきました。

編集後記

この写真が重複していて申し訳ない
ところを少し反省し、来年ももっと
もっと町民の皆さんに見ていただ
ける館報を作るよう心がけたいと思
います。
また、来年は一年間を通じて優秀
な成績を納められた町民の方々を館
報で紹介するコーナーを設けたいと
思います。(県大会優勝、全国大会出
場した方々、表彰された方々)公民
館にお持ちいただき審査の上館報に
載せさせていただきます。
よろしくお願いたします。

公民館報を作るにあ
たり、年間の公民館が
担当する行事、または
防災訓練、秋祭りでの
御神輿の巡業、お茶会
など佐野町つながら隊

2023公民館委員		
公民館長	長田 英孝	
公民館長代理 体育部部长	山田 芳央	
文化部部长	宮本みゆき	
事務局	額見 貴之	
	体育部	文化部
第1地区	沢田 剛士	宮本みゆき
	伊藤 孝英	影田 美穂
第2地区	西村 義則	田丸 恵美
	河本 隆志	山下 春奈
第3地区	玉村 直樹	村中亜紀子
	額見 貴之	山口奈美路
第4地区	山田 芳央	笹田真奈美
	影田 高俊	平田 朋香